

令和6年度目玉事業の成果・効果をチェック！！

令和6年度 目玉事業として紹介した事業について、予算執行後の成果・効果を紹介します。

令和6年度目玉事業は、
232号で紹介しています。
232号はこちら→



新生児聴覚検査事業

事業内容

新生児聴覚検査は、聴覚障害の早期発見・早期支援のために、生後間もない時期に医療機関で受けることが勧められている検査。

新生児の聴覚検査費用の一部助成。

当初予算額：151万円

決算額：85万円

成果・効果

契約医療機関などで検査した**165人分の検査費用を助成**しました。



本事業は、令和7年度も継続



新生児の聴覚障害の早期発見・早期支援のため医療機関での検査をお勧めします。(写真はイメージです)

議員の視点

早期に発見でき、医療機関に繋げることができる。

その費用の一部助成は大変にありがたい事業だと思います。

白水議員



須恵町の防災拠点のひとつとして建設されました！

須恵町消防団格納庫も併設されました

令和7年3月に防災センターが須恵区に完成しました。4月13日(日)須恵区総会を皮切りに利用が始まりました。利用された方は「素晴らしい！」「こんな立派な建物、相当費用が掛かったとてしうね！」6ヶ月を経過した今、他から見学も受け入れています。今後、公民館の管理運営に務めて参りたいと思います。終わりに、平松町長をはじめ、町議会に対しまして深く感謝申し上げます。

町民の声

須恵区 吉松 清 区長

中部防災センター建設事業

事業内容

町内4カ所目の防災拠点として、中部防災センターの建設。

当初予算額：4億6115万円

決算額：4億5825万円

成果・効果

平時は区の公民館として、有事の際は指定避難所および災害対策本部としての活用予定です。

詳細は！

中部防災センター竣工について236号に掲載しています。

236号はこちら→



食材とレシピが一緒になったものを宅配しました。(写真はイメージです)

配達されたメニュー(例)



議員の視点

令和6年度で終了した事業ですが、ひとり親世帯の反響も大きく好評でした。今後また、こういった取り組みになるか分かりませんが、ぜひ未来を担う子どもたちの為にも、このような取り組みを検討実施していきたいと思います。

川原議員

ひとり親等家庭 子育て応援食材支給事業

事業内容

近年の物価高騰の影響を特に受けると考えられる所得のないなどのひとり親世帯を対象に、材料とレシピが一緒になったものの宅配。

当初予算額：512万円

決算額：265万円

成果・効果

事業の対象となる世帯のうち希望があった**36世帯**に対し、7月から3月まで**原則毎週1回の宅配**を実施しました。

事業終了

子ども医療費助成事業 (助成の拡充)

事業内容

子育て世帯の負担軽減のため、3歳以上中学生以下の対象者は、入院は自己負担無し。入院以外は自己負担額の上限を500円/月まで。

当初予算額：1億4257万円

決算額：1億4239万円

成果・効果

令和6年度は、中学生以下の子どもたちに**6万4,180件の医療費を助成**しました。(年度末対象者数4,407人)



さらに拡充

令和7年9月定例会で、助成の対象をさらに拡充する条例が可決。令和8年4月1日から**18歳**までとなります。

中学生以下の子どもの医療費の自己負担額が軽減されました。(写真はイメージです。)

医療費助成が15歳まで拡充され、毎月の通院費が500円までとなり、経済的に苦しい家庭を、そして子どもたちを救うことに繋がり、たいへんありがたい事業であると思います。明るい未来を担う子どもたちのため、対象年齢を広げるとともに、事業の継続をお願い致します。

町民の声

新原区 松本 光司さん